

究極の"愛"。 北野 武は新しい時代を迎えた。



世界から絶大な支持を受けている映画監督・北野武。

待望の最新作がついにヴェールを脱ぐ。

今回のテーマは、ずばり<愛>。

この衝撃的なまでに美しく、せつなく、

残酷な愛の物語へいざなうのはく文楽>の人形たち。

魔術的な魅力を秘めた人形が語る<現代のラブ・ストーリー>とは・・・

一本の赤い紐につながれ、あてもなくさまよう男と女。

迫り来る死期を感じとった老境のヤクザと、彼をひたすら待ち続けるひとりの女。事故で人気の絶頂から転落 したアイドルと、それでも彼女を慕い続ける孤独な青年。三つの物語が交錯し、究極の愛の姿を浮き彫りにす る。そして衝撃のラストシーン。あふれ出す想いが、観る者の胸に熱く迫る。









現代の寓話をみごとに体現したのは、過去の北野映画に見られない豪華なキャスト陣。

狂気の淵をさまう佐和子役に人気・実力とも充分の菅野美穂。どんな謝罪の言葉も届かない恋人をただ見守り続ける松本役に『ニンゲン合格』の西島秀俊。三橋達也、松原智恵子、大杉 漣ら名優たちが脇を固め、深田恭子が憂いを秘めた演技で孤独なアイドル・春奈役をつとめる。









「いつか日本の四季をきちんと撮りたい」という 強烈な想いからスタートした。



『Dolls (ドールズ)』は、監督の<色>へのこだわりが最も鮮烈に表れた作品である。

< 人形が語る物語>という夢幻的な美を追求するために、ファッション界のカリスマ・山本耀司が斬新な衣裳を制作。「ヨウジさんの衣裳がなければこの映画は成立しなかった」と監督を唸らせ、久石譲の美しい旋律が深い余韻を残す。 2002年、秋。究極の愛に日本が涙する。

DOLS ドールズ 監督・胸本・編集:北野 武 衣裳:山本耀司 音楽: 久石 譲 菅野美穂 西島秀俊/三橋達也 松原智恵子/深田恭子 武重 勉(新人) 製作: パンタイピジュアル・TOKYO FM・テレビ東京/オフィス北野 www.office-kitano.co.jp/dolls 2002年/カラー/ヴィスタサイズ/ドルビーデジタル/1時間53分 配給: 松竹/オフィス北野

10月全国松竹系ロードショー